

20世紀を代表する
スターダンサー
ニーナ・アナニアシヴィリの
最後の「白鳥の湖」

日本では
これが見納め!

グルジア国立バレエ
STATE BALLET OF GEORGIA
芸術監督:ニーナ・アナニアシヴィリ
Artistic Director:Nina Ananiashevili

バレエ史上に残る
はかなくも美しい
不朽の名作。

白鳥の湖
全2幕4場

SWAN LAKE (Ballet in 2 acts and 4 scenes)

音楽:ピョートル・I・チャイコフスキイ
◎音楽は特別録音によるテープを使用します。
振付:マリウス・プティパ/レフ・イワーノフ
改訂振付:アレクセイ・ファジエーチエフ

オデット/オディール:ニーナ・アナニアシヴィリ
Nina Ananiashevili

ジークフリート王子:デニス・マトヴィエンコ
Denis Matvienko

ニーナ・アナニアシヴィリ
白鳥の湖
グルジア国立バレエ

Swan Lake

全席指定 (税込) SS席10,000円 S席8,000円 A席6,000円 B席5,000円 学生1,000円

※グランシップ友の会会員は1割引(学生を除く)学生は大学生かつ28歳以下 ※静岡県内の中高生を先着5名様までご招待します。お申込は(財)静岡県文化財団企画制作課 TEL.054-203-5714

友の会先行予約日:4月15日(日)~17日(火)・一般発売日:4月21日(土) チケット販売 お問い合わせ グランシップチケットセンター TEL.054-289-9000 チケットぴあ TEL.0570-02-9999(Pコード 418-607)
※グランシップホームページからは空席状況に応じてお好きな席を選んで購入できます。

2012年7月16日 月祝 17:00開演(16:30開場) グランシップ中ホール・大地



Artistic Director:Nina Ananiashvili

STATE BALLET OF GEORGIA

白鳥に鮮やかな飛翔 ————— しなやかに美しく

たとえるなら真紅の大輪の薔薇。超絶技巧を優雅にこなし、艶やかな舞い姿で世界の観客を魅了してきたニーナ・アナニアシヴィリ。しかし、今、彼女を語る上で「華やかなバレリーナ」という称号では足りない。愛くるしい笑顔は相変わらずだが、ニーナ・アナニアシヴィリは、舞踊家として、人間として大きく、鮮やかな脱皮を遂げているのである。

さる9月末、グルジアの首都トビリシにあるグルジア国立バレエ団の本拠を訪ね、芸術監督として優れた手腕を發揮するニーナの姿を目の当たりにして認識を新たにした。

カフカス山脈の端に位置するグルジアは、知る人ぞ知る舞踊大国。バレエ史的にはジョージ・バランシン、ワフタング・チャブキアーニの生地として知られ、民族舞踊の豊かさでも注目される。

ソ連邦の解体後、独立を果たした祖国の要請を受け、かつてチャブキアーニが率いたグルジア国立バレエ団の芸術監督に就任して7年。ニーナは、自由化が進むこの国の文化的シンボルとして人気を集め、バレエの発展に欠くことのできない存在となっている。世界の第一線で活躍する現役のバレリーナである一方、



Nina Ananiashvili

立木燁子(舞踊評論家)

バレエ団の公演を企画し、リハーサルを指導し、団員のみならず将来を見据えて小さなバレリーナたちの教育にも余念がない。訪問時に立ち会えたガラ公演のためのリハーサルでも、情感を込めて『タイス』を踊っていたかと思うと、自ら踊りながら『ショビニアーナ』の指導を細やかに行うといった具合だ。

努力の成果は、確実に実っている。ロシアとの緊張が続いた時期にも、ウザーロフが、フィーリンが相手役として舞台を飾り、レパートリーには古典やバラシン、チャブキアーニの作品のほか、ラトマンスキイの新作が並ぶ。最近では、チャブキアーニを記念するガラ公演に続き、3月の大震災直後には日本の被災者のためにチャリティー・ガラも開催してくれた。「バレエという芸術は国境を超える」と語るニーナの横顔は、「グルジアのバレエの母」と呼びたくなる慈愛と自信に溢れていた。

円熟期を迎えたニーナとその彼女が情熱を傾けて鍛え上げてきたグルジア国立バレエ団の清新な舞台が期待される。まして、この類まれなバレリーナが『白鳥の湖』全幕を踊る最終公演となれば見逃すことはできない。



State Ballet of Georgia

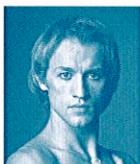
グルジア国立バレエ

1851年、ロシア連邦とトルコの間に位置する国、グルジアの首都トビリシにオペラ・バレエ劇場が創設された。20世紀初頭には、ミハイル・フォーキンがここで試演した自作をパリのバレエ・リュッス公演で上演するなど、この劇場にはロシアの一流バレエ団、ダンサーが訪れていた。1937年、名称がザカリヤ・パリアシヴィリ記念オペラ・バレエ劇場となり、1941年には名舞踊手であったワフタング・チャブキアーニがバレエ団の芸術監督兼バレエマスターに就任する。彼は劇的でロマンティックなトラマ・バレエを振り付け、舞台美術家シモン・ヴィルサラゼ、作曲家アンドレイ・バランチヴァーゼ(ジョージ・バランシンの弟)とともにグルジア・バレエを発展させる。一方、1973年に芸術監督に就任したゲオルギー・アレクシーゼは、前衛的で表現主義的な反ロマンティックの作風を持ち込み、バレエ団に新しい道を開いた。2004年9月、ニーナ・アナニアシヴィリが芸術監督に就任。世界中で様々な時代の傑作に接して成功を収めてきたニーナは、ディレクターとしてもすぐれた才能を發揮し、短期間でバレエ団のレパートリーを充実させ、多様性をもたらし、観客やダンサーの心をつかんでいる。



Denis Matvienko

デニス・マトヴィエンコ
(マリインスキイ・バレエプリンシバル/
キエフ・バレエ芸術監督)



ウクライナ出身。1997年キエフ・バレエ団に入団し「眠れる森の美女」の主役デビューを飾る。2005年に第10回モスクワ国際バレエ・コンクールでグランプリを受賞。ミハイルフスキイ・バレエ団(プリンシバル・ダンサー)を経て、2009年にマリインスキイ・バレエにプリンシバル・ダンサーとして移籍。ボリショイ劇場、ミラノ・スカラ座、パリ・オペラ座などにゲストダンサーとして出演している他、2012年にはアメリカン・バレエ・シアター(ABT)でも踊る予定。繊細かつ情熱的、ダイナミックな踊りで観客を魅了するトップダンサーのひとりである。

交通アクセス

- JR東静岡駅南口隣接。
- 静岡鉄道長沼駅下車、徒歩8分
- JR東海道新幹線(ひかり)東京から1時間。大阪から2時間。JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分。
- 車では、東名高速道路静岡ICから20分。静清バイパス千代田上土ICから10分。
- 公演当日は混雑が予想されます。近隣には他の駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

託児案内

ボランティアスタッフによる託児サービス(無料、2歳以上の未就学児に限る)をご希望の方は、公演1週間前までにご連絡ください。定員になり次第、締め切らせていただきます。

車椅子でご来場の方は、公演日前日までにご連絡ください。

【託児サービス及び車椅子での来場のお問合せ】(財)静岡県文化財団 企画制作課 TEL.054-203-5714



〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4

グランシップ指定管理者:財団法人静岡県文化財団
ホームページアドレス <http://www.granship.or.jp>

ふじのくに
芸術回廊

